

開発建設部

那覇第2地方合同庁舎の建設に着手



那覇第2地方合同庁舎のパース

施設概要

(1)建設場所
沖縄県那覇市
おもろまち2丁目1番

(2)敷地面積
約22,000m²

(3)構造・規模
全 体 延べ面積約40,000m²
1期棟 鉄筋コンクリート造 地下1階地上4階建
延べ面積約10,500m²

(4)入居官署
全 体 沖縄総合事務局 他13官署
1期棟 沖縄労働局 他6官署

(5)予定工期(1期棟)
平成13年3月～平成15年6月

那覇第2地方合同庁舎は、市内に散在する国の機関が入居する施設の老朽・狭隘の改善、借り上げ庁舎の解消、利便性の向上などを目的に合同集約化するものです。

この度、一期棟の建設工事に着手しますので、その概要をお知らせします。今後、平成十五年度の完成を目指して建設工事を進めて行く予定です。

設計概要

那覇第2地方合同庁舎が建設される周辺地区は、平成十一年八月に那覇新都心シビックアーバンとして整備計画が策定されました。この制度は、官公庁施設や商業・業務施設等を含めた都市の拠点地区を形成するなど、そこに集まる人々により便利な行政サービスを提供するとともに、地域の顔となるような新しい魅力と賑わいのある地区づくりを推進するものです。

当施設の設計に当たっては、シビックアーバン地区整備制度の整備方針を取り入れ、敷地周囲にゆとりをもたせて歩道と一体となった魅力ある空間に整備をすると共に、低層建物(一期棟、二期棟)を前面道路側にて中央に高層建物(一期棟)を配置することにより、周辺に対し圧迫感をなくしています。

公園側には、レストラン等の厚生施設を集約し、職員だけでなく市民への開放を考慮しています。また、歩道や交差点に十分なオープンスペースたまり空間()を確保すると共に、敷地内の通り抜け動線(スジクワード)を設けることなど、地区を利用する人々や周辺環境に配慮した配置計画としています。

環境への配慮として、雨水・再生水の利用、太陽光発電による自然エネルギーの利用、ルバーや熱線反射材

ラス等による冷房負荷の低減、建物中央に中庭を設けての自然採光及び自然通風など様々な対策を行っています。



配置図



新都心全体の予想図